

どうする？改憲と外交・安保問題

— 公共政策を考える市民講座 —

国民投票に詳しいジャーナリスト
今井一氏を招いて

2013年6月23日(日)13:15~17:45

徳島大学常三島キャンパス・共通教育5号館302・303教室
入場無料・駐車場有(無料)・申し込み不要

公開講演会



内容:

参議院選挙を控え、安倍政権の政策が問われています。原発、米軍基地、一票の格差、TPP、景気、財政赤字、教育、社会保障など課題は山積ですが、改憲や領土、北朝鮮も大きな争点です。憲法9条は時代に合わないのか、まずは96条から変えるのか、あるいは領土問題には毅然と対応し、北朝鮮にも対抗姿勢を貫くべきでしょうか。本講座では、こうした改憲と外交・安保に関して、気鋭のジャーナリスト今井一さんと専門の教員が論点を整理し、合理的な政策を示唆します。

今井一氏: [国民投票/住民投票]情報室 事務局長。国内外の国民投票、住民投票の現場取材を重ね、市民自治、直接民主制の研究を進める。主著は『「憲法9条」国民投票』(集英社)、『「原発」国民投票』(〃)、『住民投票』(岩波書店)他。

スケジュール:

- 12:45 開場
- 13:15 主催者あいさつ
- 13:20 憲法の意義と改憲をめぐる論点
中里見 博(徳島大学総合科学部・准教授)
- 14:35 <憲法9条、96条改正>の動きにどう向き合うべきなのか
今井 一(ジャーナリスト)
- 15:50 休憩
- 16:00 外交・安全保障をめぐる日本の課題
— 領土問題と北朝鮮問題を中心に —
饗場 和彦(徳島大学総合科学部・教授)
- 17:15 総括質疑・討論
- 17:45 終了

主催: 徳島大学総合科学部 国際政治学研究室/同憲法学研究室

問い合わせ: 国際政治学研究室(饗場)088-656-7186、aibak@ias.tokushima-u.ac.jp